本科小計		油一	一	六	二	二	一	一二	一	三九
選科小計										
特別学生小計										
師範科		一九(1)	二〇(4)	二〇(13)	六			六五		(18)六五
師範科	一二	二	一〇							

（　）は現員中の兵役等による休学者数を示す。

④ 就職状況

昭和十八年度卒業者の翌十九年度における就職状況を示す（「自昭和十六年八月文部省往復書類教務掛」による）。

科／種別	卒業者数	軍隊	教員	会社銀行	自営	就職しない者
日本画科	一七	一〇	二			五
油画科	二九	一七	三			九
科刻彫 塑造部	一四 外国人一	一〇	三			外国人一
科刻彫 木彫部	七	四	二	一		
科 図案部	一三	七	四	二		
科 彫金部	五	五				
科 鍛金部	四	四				
科 鋳金部	六	五		一		
科 漆工部	七	五	一			
工芸科						
建築科	八	二		六		

⑤ 繰上げ卒業式

昭和十九年九月二十二日、前年度と同様に修業年限六ヵ月短縮による卒業証書授与式（第五十四回）が行われた。新卒業生の七十五%は応召休学中で、卒業制作陳列会は提出作が少数であったため中止された。左記は「昭和二年以降卒業式に関する書類」の抜粋である。

第五十四回卒業證書授與式次第

昭和十九年九月二十二日午前十時

一、新卒業生式場着席（第一號鐘、講堂北ロヨリ出入）
二、生徒着席（同　上）
三、職員、舊卒業生着席（第二號鐘、講堂東ロヨリ出入）
四、來賓着席（同　上）
五、宮城遙拜、靖國神社遙拜、出征將士ノ武運長久祈願
六、國歌二唱
七、卒業證書授與（代表受領。彫金、鍛金、漆工ノ卒業生ハ全部入隊ニ付鑄金代表カ受ク）
八、學校長式辭（式辭前後ニ卒業生敬禮）
九、文部大臣祝辭（祝辭前後ニ卒業生敬禮）
十、卒業生總代答辭
十一、校歌
十二、式終了挨拶
十三、來賓、職員、舊卒業生、新卒業生、生徒順次退場